

<b>Course number</b>	U-LAS23 20001 SO48				
<b>Course title (and course title in English)</b>	中国語II A [文法・文化理解] C208 Intermediate Chinese A [Grammar, Cross-cultural understanding]		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Part-time Lecturer, OGASA TOMOAKI	
<b>Group</b>	Languages		<b>Field(Classification)</b>		
<b>Language of instruction</b>	Japanese		<b>Old group</b>	Group C	<b>Number of credits</b> 2
<b>Number of weekly time blocks</b>	1	<b>Class style</b>	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		<b>Year/semesters</b> 2024・First semester
<b>Days and periods</b>	Thu.5		<b>Target year</b>	2nd year students or above	<b>Eligible students</b> For all majors

### [Overview and purpose of the course]

初級で学んだ文法事項に関する理解を深めて確かな学力としながら、同時に、中国の文化や風俗・習慣などについて理解を深めることを目的とする。  
 受講生が中国の哲学思想や宗教、生活習慣やその他の風俗などについて興味をもち、関連する書物を読んだり、留学生に話を聞いたりして理解を深める、その糸口になれば幸いである。  
 文章は堅めで読みやすく、初級で学習したことをより確かな知識・学力とするのに格好である。特に補語（様態補語や方向補語・結果補語など）や、中国語独特の表現法、慣用句などに数多く接することができる。

### [Course objectives]

「補語」（方向補語の派生義や結果補語、様態補語など）に慣れること。多くの用例に接して、少なくとも辞書を片手にすれば中国語の文章を読み進められる程度の学力を身につける。  
 また、語学には「音読」が不可欠である。あまり抵抗を感じずに「音読」できるようにする。

### [Course schedule and contents]

この講義はフィードバック（方法は別途連絡）を含む全15回で行う。

前期は第11課から15課までの予定。文章のタイトルは

- 1 1 中国的哲学思想
- 1 2 中国的宗教
- 1 3 中国的工艺美术
- 1 4 中飯菜和茶
- 1 5 中国的酒和烟

一つの課を3回ほどの授業で読み進める予定。授業の進み方によっては、16課に入る。

各課には【語句】の説明と、中国語による【問い】が付いている。【問い】には中国語で答えてもらう。

また、一つの課を読み終える毎に、学習者の復習のために簡単なレポートを課す。内容理解と文法知識の定着のためである。

授業は、全員で音読し、次に担当者を決めて1、2文ずつ音読し、日本語に訳してもらった上で、鍵となる文法事項や表現法について説明してもらう。その補足は、初級のテキストをもとに、教員が解説する。

中国語II A [文法・文化理解] C208(2)

**[Course requirements]**

Refer to "Handbook of Liberal Arts and General Education Courses".

**[Evaluation methods and policy]**

成績評価は学期末の試験を主とする。試験によって補語や慣用表現、複雑な構文などへの習熟度を見る。詳細は授業において説明する。

**[Textbooks]**

中山時子 『中国語で学ぶ 中国文化基礎知識 [改訂版]』 (東方書店)

**[References, etc.]**

(References, etc.)

文法事項に関する最も良い参考書は、受講生が初級で用いたテキストと辞書である。

授業中、文法事項の確認をする時には、初級のテキストと辞書を用いる。各自、初級で使用したテキストと辞書を毎回持参すること。

また、文章内容に関する、入手しやすい参考文献などがあれば、授業中に紹介する。教員が入手できるものであれば、適宜コピーなどを配布する。

**[Study outside of class (preparation and review)]**

音読と内容理解の予習をしっかりとて欲しい。復習のために、各課を終えた時にレポートとして、文法的に勉強になった一文、内容的におもしろかった(興味を感じた)一文を、その理由とともに挙げてもらい、かつ、全体について考えたことをまとめてもらう。

**[Other information (office hours, etc.)]**